

このコーナーでは、九州一の安心安全なまちづくりを目指す小林市で活躍する人やその活動など、協働のまちづくりに関する情報を提供します。



自衛隊父兄会・防衛協会奉仕
石氷橋やコスモドームなど
文化財や観光地で清掃作業



草刈りなどを行う参加者

市 自衛隊父兄会と県防衛協会小林支部が
9月15日、市内の文化財や観光地など4カ所で奉仕作業を行いました。会員やえびのと都城駐屯地の自衛隊員やOBなど約130人が参加し、石氷橋、北きりしまコスモドーム、すきむらんど、のじりこびあで草刈りやゴミ拾いを実施。父兄会阿部慶太郎会長は「今年で13年目。自衛隊への理解と地域への貢献のため、これからも協働のまちづくりにつなげたい」と話していました。



市民活動支援センターからのお知らせ
「地域の絆を育てる場づくり」として、テーマごとに
取り組む市民グループメンバーを募集します！



現 在、小林市では、地域住民と行政が協働・協創の関係でまちづくりを推進しています。そこで、当センターでは、市民や団体同士が有機的に繋がるきっかけとなる「地域の絆を育てる場づくり」として、テーマごとに取り組む市民グループを結成したいと考えています。興味のある人、市と一緒に盛り上げてみませんか。参加をお待ちしています。

■テーマ①：「インターネットを活用した、地域づくり」
例えば、eコマやフェイスブックなどのSNS（人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型のWebサイト）のメリットやデメリットの



自殺予防習慣
街頭キャンペーンで
自殺予防を呼びかける

9月10日から16日の自殺予防週間に合わせ、9月11日、自殺予防を呼びかける街頭キャンペーンが行われました。市自殺対策協議会の主催で、こころの健康サポーターやNPO法人こばやしハートムのメンバー、警察など約40人が市内のスーパー3カ所で実施。来店者にチラシや花の種などのグッズを配布し、自殺予防を呼びかけました。



笑顔でチラシやグッズを配布し、自殺予防を呼びかける参加者

勉強をとおして、安心安全な情報共有で地域の皆さんとの絆を深めてみませんか。

■テーマ②「食育による、地域づくり」

私たちが健康で楽しく充実した生活を送るためには、「食」を欠かすことはできません。食をさまざまな視点（食品の知識・調理の仕方・食べ方・食文化など）から学んで、地域ぐるみで子供たちに正しい食を伝えていきませんか。

※詳細や申込は下記まで。

◆申込・問

・小林市市民活動支援センター
TEL 27-3177 メール purumeria_mina@ecokiri.or.jp

協働により「九州一 安心安全なまち 小林市」を目指して

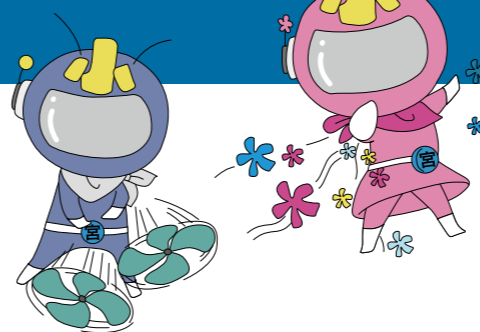


も応援。

こばやし協働

Info & News

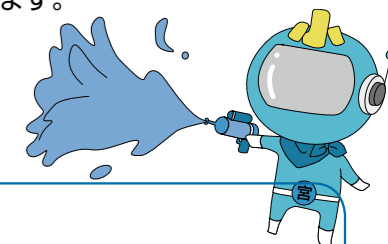
インフォ アンド ニュース



このイラストは、小林高校1年生
海蔵楓寧さんが小林市の活性化を
願い作成したものです。市の自然
(花、星、水、蛭)がモチーフになっ
ています。



きずな協働体
安心安全で魅力ある地域づくりを目指して
須木地区の地域担当職員と地域支援員が決定！



8月7日、地域に市職員を配置する「地域担当職員」として、須木地区に職員11人が配置されました。これは、協働によるまちづくりの一環で、地域とともに「悩み・考え・行動する」ことで行政としての役割を果たすことが目的。配置された職員は、地域の魅力や課題を再発見する活動などを通じて、地域の自主的なまちづくりを支援します。チームのリーダーを務める栗原一夫須木総合支所長は「須木は絆が強い地域。豊富な資源を生かして、地域の皆さんと知恵を出し合い活性化につなげたい」と決意を語りました。

▼地域支援員の委嘱状交付式



【地域支援員紹介】金松勲さん、河野雄二さん、
岩元讓さん、池井周造さん、池田照雄さん、
前田信志さん、東原祝男さん、八重尾己年さん、
河野治雄さん、黒木領一さん

9月3日には、同地区の区長10人に地域支援員の委嘱状を交付。地域担当職員と連携しながら、地域の魅力や課題を発掘し、安心・安全で魅力あるまちづくりを推進します。この日、委嘱された原区の岩元讓区長は「須木地区は交流が多い地域。災害も多いので、住民が安心安全に暮らすためには更なる『つながり・絆』が大切。協働の架け橋となるよう頑張りたい」と話していました。



▲辞令を受けるリーダーの栗原一夫須木総合支所長